



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月12日

上場会社名 藤久株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 9966 URL <https://www.fujikyu-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 智章
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 筒井 和宏 TEL 052-774-1181
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の業績 (2020年7月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	5,741	26.6	610	—	612	—	539	—
2020年6月期第1四半期	4,535	8.2	△544	—	△547	—	△819	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	43.83	—
2020年6月期第1四半期	△97.47	—

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	14,188	9,266	65.3
2020年6月期	14,430	8,880	61.5

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 9,266百万円 2020年6月期 8,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期 (予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の業績予想 (2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,185	△5.2	911	3.2	899	19.9	600	112.3	48.78

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年6月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期1Q	12,301,000株	2020年6月期	12,301,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	868株	2020年6月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期1Q	12,300,132株	2020年6月期1Q	8,409,132株

(注) 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高57億41百万円（前年同四半期比26.6%増）、営業利益6億10百万円（前年同四半期5億44百万円の営業損失）、経常利益6億12百万円（前年同四半期5億47百万円の経常損失）、四半期純利益5億39百万円（前年同四半期8億19百万円の四半期純損失）となりました。

小売業界においては、未だ収束が見えない新型コロナウイルス感染症拡大による景気の下振れリスクや雇用の悪化リスクなど、先行きは不透明で厳しい環境にあります。このような状況のもと、外出自粛による巣ごもり需要が拡大し、屋内で楽しめる趣味が見直され、手芸用品の売上は好調に推移しました。

各部門別の経営成績は、次のとおりであります。

(店舗販売部門)

当第1四半期累計期間における店舗展開につきまして、退店では「クラフトハートトーカー」10店舗、「クラブパーク」1店舗及び「サントレーム」4店舗の合計15店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第1四半期会計期間末の総店舗数は404店舗となりました。

店舗運営面につきましては、新規出店の抑制と不採算店舗の退店を推進しながらも、「①会員制度の進化、②教室運営の拡大、③システム面の刷新、④美観修繕の実施」を重点目標として定め、収益向上に繋げるべく取り組んでおります。①会員制度の進化につきましては専門の部署を立上げ、サブスクリプション型の決済システムの導入や新たな会員特典の追加について検討を進めております。手芸専門店の有効会員数は前事業年度末の1,461千名から、当第1四半期会計期間末は1,466千名と微増です。店舗の実績に応じた成果報酬制度を導入することで、入会獲得者数の向上に努めております。②教室運営の拡大につきましても専門部署を立上げるとともに、新しい生活様式に合わせた非接触型のWeb講習会を確立するべく、一部店舗でのトライアルを進めております。③システム面の刷新につきましては、お客様の利便性改善のため、実店舗と通販の基幹システムを統合するプラットフォーム開発に着手しており、2021年7月の稼働を目指しております。④美観修繕の実施につきましては、老朽化が目立つ路面店24店舗の修繕を実施することを決定しました。また、内装や什器設備まで変更する大規模な改装を5店舗で計画し、これからのクラフトハートトーカーにおけるスタンダードな姿（モデル店）を構築します。徹底してお客様視点にこだわるため、担当責任者に女性を登用し、清潔感があり明るいイメージで女性が気軽に入りやすい店舗づくりに向けて始動しました。

商品区分別では、生地部門の売上高が前年同四半期比で77.0%増と好調でした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で販売が好調だった、手作りマスクセットの販売数は33,633セット（前年同四半期比798.8%増）と変わらず好調ではありましたが、第60期第3四半期会計期間のピーク時から落ち着きつつあります。7月からのレジ袋の有料化にともない、エコバッグセットの販売を強化しており、当第1四半期累計期間では販売数が41,281セットと、マスクのセット販売数を上回り、生地部門の売上増に貢献しております。

生地部門の販売と連動し、和洋裁服飾品部門の売上高が前年同四半期比で23.3%増と好調でしたが、そのうちミシンについては急激に需要が喚起されたことで、品薄状況が続きました。また、前年同四半期累計期間は消費税増税直前にあたり、販売額が一時的に増えていたこともあり、当第1四半期累計期間におけるミシンの売上は、前年同四半期累計期間の売上を上回ることはできませんでした。

これらの結果、店舗販売部門の売上高は、54億80百万円（前年同四半期27.8%増）となりました。

(通信販売部門)

通信販売部門では売上高の拡大と、部門利益の黒字化を重点目標に取り組んでおります。売上高の拡大につきましては、店舗販売部門と同様、エコバッグとマスク需要にけん引されて生地部門の売上高が、前年同四半期を大きく上回る成果となりました。一方で利益面では厳しい状況が続いており、課題である部門利益の黒字化につきましては、プロジェクトチームをつくり、物流拠点の整備やコストの低減に取り組んでおります。

これらの結果、当部門の売上高は、2億50百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

(その他の部門)

当部門の内容は不動産賃貸であり、売上高は9百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。

(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月20日に公表しました2021年6月期の業績予想につきましては、現時点では変更はありません。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による事業への影響については、引続き状況を注視してまいります。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,143,162	5,374,415
受取手形及び売掛金	307,849	258,673
電子記録債権	2,159	316
商品	5,186,901	5,336,096
貯蔵品	955	776
その他	1,014,040	756,092
貸倒引当金	△2,028	△1,538
流動資産合計	11,653,040	11,724,833
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	193,147	186,258
土地	913,814	644,957
リース資産(純額)	18,507	17,359
その他(純額)	23,523	21,358
有形固定資産合計	1,148,992	869,935
無形固定資産	95,765	110,428
投資その他の資産		
差入保証金	1,331,799	1,282,054
その他	200,621	201,621
投資その他の資産合計	1,532,421	1,483,675
固定資産合計	2,777,179	2,464,039
資産合計	14,430,220	14,188,872

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,155,511	1,226,962
電子記録債務	1,084,940	1,180,326
リース債務	82,600	74,227
未払法人税等	234,590	103,789
賞与引当金	58,109	107,917
ポイント引当金	64,392	65,391
事業構造改善引当金	69,229	35,234
資産除去債務	88,050	52,092
その他	1,606,010	1,021,857
流動負債合計	4,443,435	3,867,798
固定負債		
リース債務	85,446	68,012
役員退職慰労引当金	34,893	7,497
資産除去債務	795,298	794,096
その他	190,730	185,042
固定負債合計	1,106,368	1,054,648
負債合計	5,549,803	4,922,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,840	3,125,840
資本剰余金	806,070	806,070
利益剰余金	4,948,535	5,333,956
自己株式	△976	△976
株主資本合計	8,879,469	9,264,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	946	1,535
評価・換算差額等合計	946	1,535
純資産合計	8,880,416	9,266,425
負債純資産合計	14,430,220	14,188,872

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,535,987	5,741,370
売上原価	2,011,383	2,314,564
売上総利益	2,524,603	3,426,806
販売費及び一般管理費	3,069,315	2,816,214
営業利益又は営業損失(△)	△544,712	610,592
営業外収益		
受取利息	381	291
受取配当金	66	39
協賛金収入	500	—
受取手数料	734	1,655
その他	719	1,877
営業外収益合計	2,403	3,863
営業外費用		
支払利息	4,009	676
コミットメントフィー	—	882
その他	1,344	251
営業外費用合計	5,354	1,809
経常利益又は経常損失(△)	△547,663	612,645
特別利益		
固定資産売却益	—	6,157
特別利益合計	—	6,157
特別損失		
固定資産除却損	19	—
減損損失	101,777	924
店舗閉鎖損失	2,344	—
投資有価証券評価損	3,226	—
事業構造改善引当金繰入額	129,974	—
事業構造改善費用	—	2,495
特別損失合計	237,342	3,419
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△785,005	615,384
法人税、住民税及び事業税	34,632	76,211
法人税等調整額	△37	—
法人税等合計	34,594	76,211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△819,600	539,172

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。